

1987 (昭和 62) 年

- 2 昭 61 年度末手当要求書提出。(基本給+家族手当+住宅手当) ×1.16 ヲ月
- 2.10 昭 61 年度末賞与締結。団交 2 回後。
(基本給+家族手当) ×1.0 ヲ月+一時金(基本給+家族手当) ×0.06 ヲ月
- 2.18 「鶴ヶ丘高校における芸術科廃止と『埼玉第一高等学校』の『芸術コース』新設とに關わる疑義」について質問書を提出。
- 3.14 教研集会。於：経済学部 2 号館。
国家機密法案 京藤哲久(明治学院大学教授) 税制改革法案 北野弘久(日本大学教授)
労働基準法改訂法案 牧野富夫(日本大学教授)
- 3.19 高校人事異動。異動者 13 名。
- 4.5 「下町を歩く会」。青婦都主催。40 名参加。
- 4.22 昭 62 夏季一時金要求書提出。(基本給+家族手当+住宅手当) ×2.35 ヲ月+5 万円
- 4.22 昭 62 「賃金、福利厚生及び教育条件、研究条件、労働条件に關する要求書」提出。
ベ・ア 基本給(定昇後) ×10%
手当 家族 配偶者 26,000 円、その他 17,000 円、住宅：29,000 円
- 5 昭 62 夏季賞与締結。(基本給+家族手当) ×2.35 ヲ月+一律 20,000 円
- ※5.11 日大理工米國 MIT とのプログラム契約に調印。
- ※5.17 ケンブリッジ大学との學術交流協定を締結。
- 5.23 春闘決起集会。新組合員歓迎会。
- 5.28 日本大学総長候補者に対して公開質問状を出す。
- 6.3 日本大学総長候補者 3 氏から回答を得る。
- 6.11 「組合報」110 号記事。
「総長候補者への公開質問状とそれへの回答」
「総長選アップール『第七回総長選挙にあたって』」
- 6.12 松戸歯学部で組合報を配布。
- ※6.18 第 7 回総長選挙 高梨公之 1,247、井手生 617、滝口久 337
- 6.19 昭 62 ベ・ア等協定締結。団交 5 回後。ベ・ア 基本給(定昇後) ×1.7%
手当 家族 配偶者 16,000 円、その他 8,500 円
住宅 世帯主 14,000 円、その他 11,000 円
- ※8.7 臨教審が個性重視、生涯習体系への移行等の最終答申。秋季入学制、文部省再編も提言。
- 8.14~16 「第 2 回登山会 尾瀬を歩こう！」。「尾瀬を歩く会実行委員会」。
- 8.21 衆・参文教委員に「大審法」反対決議文送付。
首相と衆・文教委員に「大審法案」強行採決抗議電。
- 8.24 学部長、理事長、総長に「大審法」反対決議文、要請文を送付。
- 8.24~25 高校部会合宿。於：・都内旅館。15 名参加。
強制配転反対運動の再確認、私学助成運動の展開、生徒減少期対策、付属高校の教育の問題点、各高校の状況、
「高校部会報」の編集などについて。
- ※9.18 労働基準法改正。
- 9.26 第 24 回定期総会。於：経済学部本館。
1986 年度活動報告・決算報告
1987 年度活動方針・予算決定、永山利和(商)委員長他選出
- 10.28 昭 62 年末一時金要求書提出。
(基本給+家族手当+住宅手当) ×4.0 ヲ月+一律 7 万円
- 11.10 昭 62 年末賞与締結。団交 3 回後。
(基本給+家族手当) ×3.2 ヲ月+一律 1 万円+一時金 0.06 ヲ月
- 12.3 「組合報」112 号記事。「授業料値上げ!」、「今後の教育改革の焦点」窪田祥宏
「109 国会と労基法改悪」牧野富夫